

(別紙2-1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 26年 1月 20日

【事業所概要 (事業所記入)】

事業所番号	4270201280		
法人名	社会福祉法人 葉 港 会		
事業所名	グループホーム 春日スプリングガーデン		
所在地	佐世保市春日町 716-8		
自己評価作成日	H25年12月10日	評価結果市町受理日	H26年1月30日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先 URL	
--------------	--

【評価機関概要 (評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 ローカルネット日本評価支援機構
所在地	〒855-0801 長崎県島原市高島二丁目七二一七 島原商工会議所一階
訪問調査日	平成 26年 1月 9日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点 (事業所記入)】

‘太陽と音楽と香りと語らいを、を法人理念とし、明るく、楽しく笑顔の絶えない暮らしを目指しています。
地域の人々との交流も広げて、お客様が健康で幸福で安心な生活ができるように支援しています。
季節ごとの催し事では、当事業所だけでなく、併設する支援ハウスや小規模の方々とも交流ができるようにしています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点 (評価機関記入)】

当ホームは、眼下に市街地が広がり、近くに駅がある交通の利便性の良い斜面地に立地し、ホーム敷地には、法人施設が併設され自然の植物も見られ静かな環境が保たれている。
この景観に恵まれたロケーションの中で法人理念を基調としてホーム理念に沿った「明るい笑顔、楽しい生活」を入居者と職員が支え合いながら共同生活が営まれている。
理事長は、入居者の食の楽しみを大切にされて、昨年12月より従来の施設入所の外部委託調理提供からホームでの職員による献立調理提供に切り換えられて入居者の思いに沿った支援に取り組まれている。
又、ターミナルケア対応も経験豊富な多数の職員が在籍し入居者や家族の要望に添う体制が整っており、家族の安心と信頼に繋っているホームである。

1 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「太陽と音楽と香りと語らいを」を基本理念にお客様が地域の中で健康で幸福な安心と信頼あふれる生活を支えるために理念をつくりあげている。玄関に理念を掲示しており、職員はその理念を朝礼時に全員で復唱し、意識して業務にあたっています。	法人理念を基調として職員総意の理念を作成して共有されており、理念に沿った介護支援が提供されている。新任職員には、法人本部で二週間の研修期間を通して、理念の理解や接遇等の指導も行われている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の民生委員の方と情報交換を行ない、送迎時には地域の住民の方への挨拶も心がけている。介護教室にも来ていただけるように案内を出している。地域の小学生や中学生と年間を通して交流会を行い、運動会、入学式、卒業式にも案内が来れば見に行くようにしています。	開所から12年で地域の清掃活動や婦人会、老人会、小中高生との交流も図られており、又、ホームイベントには家族や地区役員の参加もある。更に、市委託の介護教室も法人各施設で法人職員が講師となって年3回実施され地域活動も行われている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	キャラバン・メイト養成研修や認知症ケア専門士等の資格を積極的に取得し、認知症の方への理解を深め、地域の人々へ理解していただけるように努めています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回開催している。現状報告をしながら参加者の意見を伺いサービス向上に向けて前向きに取り組んでいます。	会議には、地域包括センター、公民館長、町内会長、利用者家族、元教員等が出席されフランクな雰囲気の中で意見交換が行われており、ホーム運営の透明化にも努められている。	
5	4	○市町との連携 市町担当者とは頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	地域包括支援センターや他の高齢者支援センター等とも定期的に連絡を取り合っている。地域包括支援センターと同行訪問を行ったり、地域ケア会議等にも出席しています。	包括センター職員や市職員との親交が図られており、窓口には、管理者、ケアマネジャーが定期訪問されており、協働体制は構築されている。	

6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	管理者が身体拘束の研修の終了証マニュアルを作り、職員へ伝えていきます。常に身体拘束をしないケアに取り組んでいます。	ホームの廊下壁に「身体拘束排除宣言」が掲示され職員への周知が図られている。又、県主催の身体拘束研修には、毎年職員1～2名が参加されており、受講後は法人の職員定例会で受講報告が行われている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	お客様の身体的だけでなく、精神的虐待にも注意し、研修にも積極的に参加しています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるように支援している	法人として研修に行き、職員全体で情報を共有するように社内研修を行っています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	お客様、ご家族の方が理解、納得されるまで説明を行い、同意を得た上で、署名と捺印をいただいています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ふれあい箱設置により、お客様やご家族の意見や苦情を書くことができ、毎年一回の外部評価によりアンケートをとった結果を運営推進委員会で話し合っています。	家族面会の折りは管理者が率先して面談の機会を持たれており、家族から「歌も歌ったことのない母が歌うようになっている」との喜びと感謝の声等も寄せられ、職員の励みにもなっている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	意見や提案があった場合には、随時報告を受け、可能な限り反映させています。	ホームでの意見交換は気軽に行われており、法人の各施設には「気づきノート」が設置されており、職員の気づきが記録され各委員会を通じて法人定例会で発表され理事長の即断即決で反映されている。	

12	<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>専門の労務士と契約し、定期訪問により就業規則の整備を行い、各自が向上心を持って働けるように直接労務士さんと相談し、職場環境や条件の整備に努めています。</p>		
13	<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人の方針として、可能な限り外部への研修への参加を推奨しています。新人研修、全職員研修は職員互助会とも協議しながら適宜実施しています。</p>		
14	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>風船バレー大会等に参加し、法人として外部とのイベントに参加し、交流しています。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>面談では、お茶を飲みながらくつろいだ雰囲気の中で行なわれています。不安なこと、困っていることを聞き出す為には数回の面接を繰り返すこともあり、後からトラブルにならないように予測できる事は契約時に十分説明しています。</p>		
16	<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>面接や電話での話し合いを重ねたり、施設見学の折に家族の不安や思いを受け止める努力をしています。</p>		
17	<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>心から信頼していただくように努め、他のサービス利用も視野に入れながら対応しています。</p>		

18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	グループホームスペースに閉じこもらず、レストランやソファで他のお客様や、職員を交えて団欒の場を提供しています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	連絡を密にし、出来るだけご家族と共にお客様のパートナーとして良好な関係を作るように努めています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないうち、支援に努めている	これまでも続けてきたご家族との散歩や、近所へ顔なじみの店へ買い物に職員へ行く等を勧めしています。	入居者と月一回の面会が図れる様に取って諸経費や薬等を家族が持参される仕組み創りがされており、家族との絆を大切にされている。又、併設施設合同の行事や季節ごとの催し、10年来の馴染みの移動美容室の毎月訪問もあっている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	グループホーム入居者同士の関係は良好で、揉め事もなく、ゆったりと過ごされています。職員もお客様とテレビを見たり、お茶を飲んだりしてお客様同士の関係が円滑になるように働きかけています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	一度関わったお客様なので、お付き合いを大切に、引き続き相談や遊びに来てもらえるように心掛けています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人の意向を大切にし、要望に沿った支援をするようにしています。日々の変化に注意し、ご家族からも情報を得ることによりお客様の意向を把握出来るように努めています。	入居者の意向把握には、入浴介助時のゆったりとした時間や夜勤時には寝付きの悪い方に付き添っての会話の時間を意識的に設けられており、聞き取りの思いや意向は、ケース記録にしたためて職員間で共有されている。	

24	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご利用前にご家族から得た情報をご本人のご希望に沿ってくその人らしく生活できるようにしています。お客様やご家族等から少しずつ情報を把握できるように努めている。		
25	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	職員が、お客様一人一人の一日の様子を申し送り等の中で把握できるように努めています。		
26	10 ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人やご家族から意見を聞いて担当者会議を開き、全員でそれぞれのアイデアを出し合い、介護計画に反映しています。	介護計画は本人や家族の意見を聞き、担当者会議で原案を作成後、全職員のカンファレンスと家族の同意で実践されている。プラン見直しは6カ月であるが状況変化には随時対応され、モニタリングは毎月行われている。	
27	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日個別に実施記録とケース記録には状態変化を記録しています。状態の変化については情報を共有しながら、実践や介護計画の見直しに活かしています。		
28	○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々に見えるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	入居者やご家族の要望に合わせて、相談や話し合いを行い柔軟に対応しています。また、訪問理美容等も利用できるようにしています。		
29	○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の民生委員さん等と定期的に情報交換を行ない、消防士の方を呼んで消防訓練を行い、緊急時に備えています。安心して過ごせるように心掛けています。		

30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	事業所の協力医のほか、お客様やご家族の希望されるかかりつけ医があればご家族と協力し、通院介助もこなっています。必要時には訪問診療を受けています。	本人、家族の希望に沿って「かかりつけ医」受診となっている。受診時は基本家族支援であるが、家族の要望による職員支援も対応されている。協力医の定期健診は二週間毎にあり、夜間の緊急対応も協力医との連携が図られている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護職員を配置しており、常に状態変化や健康管理に応じた支援が行なえるように配慮しています。近隣の協力医や看護師との連携も取れており、気軽に相談できる体制が確保されています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には職員がお見舞いに行くとともに、状態把握を行い、医療機関との連携が図れるように配慮しています。また、ご家族とも話し合いながら退院の支援を行なっています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	お客様やご家族の意向を大事にしながら、職員同士で終末期について考え、協力医とも相談できる体制を整えています。	ホームとして看取り方針で臨まれており、前年度も一人看取られ、経験職員も多数在籍されている。現在、終末期に至って家族、協力医との協議の上で対応されているが、今後は入居契約時に看取り契約の取り交わしの意向を持たれている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	看護師を中心に、急変時に備えて研修を行い、円滑な対応ができるように努めています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的な消防訓練により、災害時の対応が円滑にできるように努めています。	年二回、自主消防訓練が昼夜間想定で実施されている。訓練時には消火機器業者の指導で消火機器操作を各職員実地経験される等、防災意識を強く持って取り組まれているが、夜間緊急時の地域住民の協力も検討が必要と思われる。	夜間の緊急事態に備えてホーム近くに職員居住も図られているが、更なる協力体制確保の観点から地域住民の協力も必要と思われるので、訓練時の地域住民参加の働きかけを期待したい。

IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個人情報取り扱いには十分配慮し、日常生活においても自尊心や、プライバシーを守るように職員の意識向上を図っています。 入居者には人生の先輩として尊敬の念を持って接しており、言葉遣いには特に注意されている。理事長も職員定例会や朝礼等では訓示されており、法人内での接遇の勉強会も行われている。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	職員側で決めたことを押し付けるようなことはせず、日々の生活の中で希望を聞き、いくつかの選択肢の中から自分で決められる場面を作るように努力しています。
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な一日の流れはありますが、時間を区切った過ごし方はされないように努めています。体調に配慮しながら、本人の気持ちを尊重し、できるだけ個別性のある支援を行っています。
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	月に一度の移動美容室があり、お客様のご希望やご家族の希望により、カット、パーマ、白髪染め等のサービスをご利用いただいています。
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立、調理は職員が行い、入居者と一緒に楽しみながら作っています。季節に合わせた行事食やメニューも豊富なのでとても楽しみにされています。入居者と職員が同じものを食べて、食事の話題等で楽しい雰囲気のもとで食事が出来ています。 理事長が入居者の食の楽しみを大切に思われて、昨年12月より施設入所業者委託の食事提供からホーム職員の献立調理へ移行されている。献立は入居者の嗜好も取り入れて提供されており、食材の買出しにも入居者の同行支援も視野にあり、入居者の食の楽しみが感じられる。
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量は毎回、服薬時にチェックし、食事量、内容、形態については、ご本人やご家族、主治医の意見を参考にしながら支援している。

42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔内のチェックを行い、利用者の状態に合わせて、歯磨き、義歯の手入れなどの支援を行っています。随時訪問歯科医との連携も図っています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	入居者の一人一人の排泄パターンを把握してトイレ誘導を行なうようにしています。	排泄チェック表によるトイレ誘導が行われており、意思表示困難方は動作、表情で察知し誘導されている。夜間の誘導は睡眠状態に配慮しながら個々人に合わせてトイレ、ポータブルトイレの支援がされている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便チェックを行い、排便状況の確認を行なっています。また、自然排便を促すように努めています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	血圧測定、体温を測り、健康状態をみながら、お客様の意向に沿って入浴を支援するように努めています。	入浴は、基本週二回の支援であるが、希望に沿って毎日の使用も可能である。入浴介助は、現在入居者が女性のみで同性対応されており、入浴拒否には無理強いしないですぐ対応されている。又、ホームには、一般浴槽とリフト浴槽があり季節湯や入浴剤の使用もあっている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	なるべく日中の活動を促し、お客様の体調や生活リズムを整えるように努めています。また、個別に対応して休息できるように配慮しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医師からの処方箋をファイルして、職員が把握できるようにしています。服薬確認も徹底しています。		

48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>デイサービスや特定施設のレクリエーション活動に、ご本人の意思があれば参加していただきます。また、散歩に出る等の気分転換を行なうようにしています。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>気候のよい時には散歩に出かけたり、職員と一緒に戸外に出られ、公園の季節の花を見たりされています。</p>	<p>ホーム周りには自然の植物が散在し、車イスの方も気軽に外気浴、日光浴を楽しまれている。年間外出計画も季節の花見や近隣のテーマパーク見物等もあり、家族の協力を得ながらの帰宅支援もあっている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お客様にもよりますが、ご家族または自己管理にて金銭管理をされています。お買物については一緒に行くなど、買物の希望に沿うように努力しています。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>電話の利用は常に可能であり、希望があれば支援しています。手紙のやり取りは希望があれば支援します。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>廊下には行事等の写真を貼ったり、観葉植物を置くなどしています。また、居間にはソファを置いてくつろいでいただけるように配慮しています。</p>	<p>ホーム玄関には陽光が射し込み、観葉植物と季節を彩る正月のオブジェが配置され、清潔感が保たれている。オープンキッチンにはリビングの掃き出し窓から眼下に市街地と対面の山の緑と住宅が映え、共用空間に流れる童謡メロディーに口ずさむ人等、それぞれの思いの中に過されている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>玄関ホールに椅子やテーブルを置き、絵画や観葉植物を配置し、居心地の良い環境作りに努めています。</p>		

54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた寝具を持ってきていただく等して、安心して過ごしていただけるように配慮しています。	各居室は、掃き出し窓で採光も良く、ホーム設置の洗面台、エアコンに加え温度計で各居室の温度管理も行われており、入居者は慣れ親しんだ寝具、タンス、仏壇、家族写真等持ち込まれて個々の居室創りの中で過ごされている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレにはプレートを下げ、居室の前にはお客様の馴染みの物を活かしています。状態の変化があれば、その都度職員同士で話し合い、自立して生活が送れるように支援しています。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない